

料金 | 全席自由席 | 整理番号なし | 受付は開演の1時間前、開場は30分前

前売 | 一般 2,500円 | 学生 1,500円 | 当日は500円増 | 未就学児無料 | 障害者介助者1名まで無料

前売チケット取扱 | 振込手数料、発券手数料はご負担願います

○ FAXで申込みのうえ振込

件名「カエルチケット」と必要事項を明記のうえ、FAX番号 0742-49-5501 までお送りください。

折返しFAXにて入金額・入金先をご連絡します。

1. 公演鑑賞日 2. 申込者氏名 3. 申込枚数 4. 返信先FAX番号 5. 電話番号 6. 来場者にご配慮が必要な方がいる場合、その内容

○ インターネットで申込みのうえ振込 | <https://goo.gl/forms/jwUX3BfteSq4vIW53>

フォームに必要事項を記入し送信してください。折返しEメールにて入金額・入金先をご連絡します。



申込みフォーム
QRコード

○ peatix | <https://tanpoponoye.peatix.com>

・クレジットカード決済、コンビニエンスストア支払い、ATM支払いからお選びください | 事前会員登録

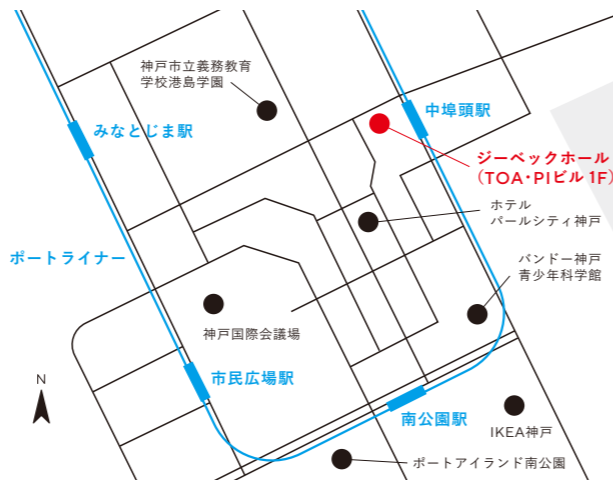
アクセス

* 劇場には多目的トイレが備わっておりません。近隣の多目的のトイレをご案内します。お気軽にお問い合わせください。

兵庫公演 || ジーベックホール

住所 || 兵庫県神戸市中央区 港島中町7丁目2-1

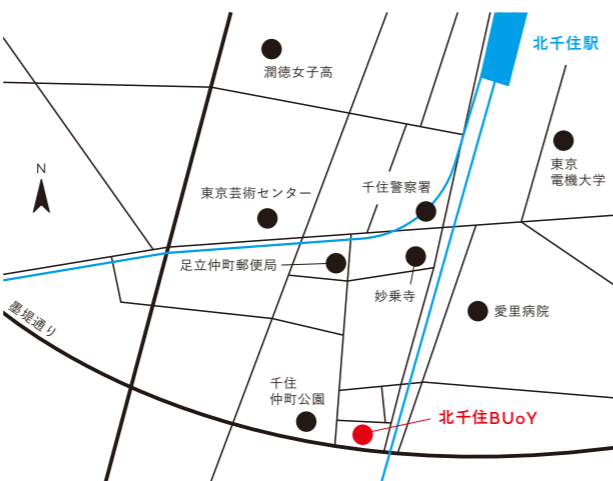
神戸ポートライナー「中埠頭(ジーベックホール前)」駅下車、西側へ徒歩3分。(阪急三宮・JR三ノ宮より約15分)
駐輪場・駐車場はございません。隣接するコインパーキングをご利用ください。(会場横に平面駐車場あり)



東京公演 || 北千住BUoY

住所 || 東京都足立区千住仲町49-11

東京メトロ千代田線・日比谷線・JR常磐線・東武・つくばエクスプレス「北千住」駅、1番出口より徒歩6分。西口より徒歩8分。
駐輪場・駐車場はございません。



兵庫公演トーク | 1時間程度 | 無料・申し込み不要

終演後、舞台芸術や福祉をテーマにしたトークイベントを開催します。

音楽 || 野村誠 照明 || 岩村原太 | 川島玲子

美術 || 池上恵一 IoT監修 || 寛康明

衣装 || 清川敦子 音響 || sonihouse

舞台監督 || 浜村修司 アドバイザー || 砂連尾理

宣伝写真 || 草本利枝 宣伝美術 || 岡田将充 (OMD)

制作進行 || 那木萌美

主催 || 文化庁 | 一般財団法人たんぼの家

制作 || 一般財団法人たんぼの家

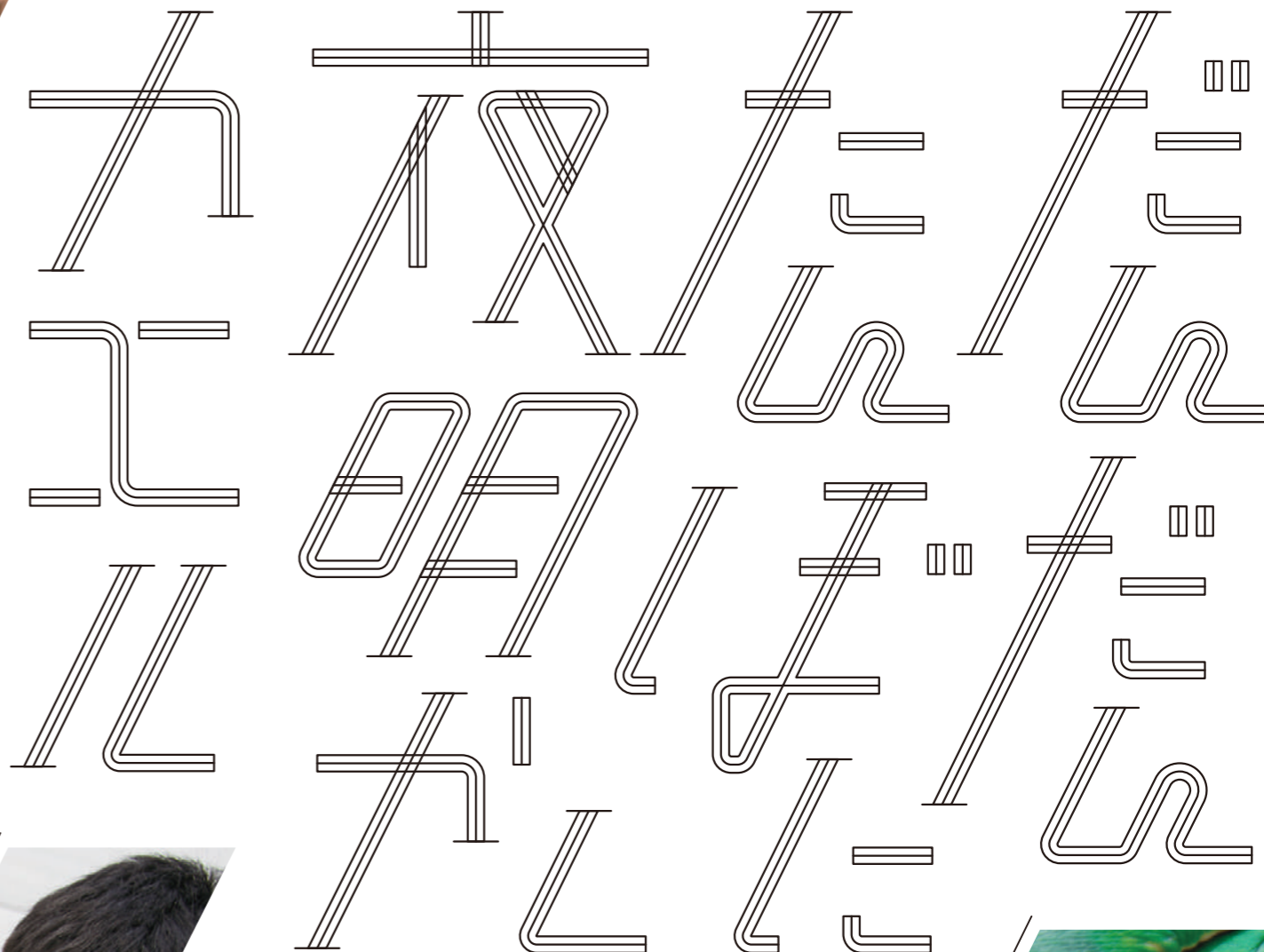
協賛 || TOA株式会社

協力 || アートアクセスあだち 音まち千住の縁「野村誠 千住じゃれ音楽祭」| 社会福祉法人わたぼうしの会 | 奈良たんぼの会 | ジングルようちえん 社会福祉法人 起生会 ほほえみの園 | 一般社団法人北和福祉振興一道会 みんなの広場らんまん | 株式会社ジーベック | NPO法人エイブルアートジャパン

本事業は、文化庁平成30年度戦略的芸術文化創造推進事業(共生社会実現のための芸術文化活動の推進)
<「共創 co-creation」をテーマとした「共創の舞踊劇」>として実施されます



共創の舞踊劇



だんだんたんぼに夜明かしカエル

【兵庫公演】

2019年2月17日^日 13時

ジーベックホール (兵庫県神戸市)

【東京公演】

2019年3月9日^土 19時 | 10日^日 14時

北千住BUoY (東京都足立区)

上演時間 約90分

料金 || 前売 一般 2,500円 | 学生 1,500円

・当日は500円増 | 障害者介助者1名まで無料

演出・振付 || 佐久間新

企画 || 一般財団法人たんぼの家



夜明けから夜明けまでのカエルの物語

ぐるり山なみ棚田にそそぐ陽。真昼の泥の中でくつき息をするカエル達。陽が傾いたそがれ時、うたがはじまる。祈っているのかもしれない。つぶやいているのかもしれない。闇が深まっていく、賑やかになっていく、夜が明けていく。棚田には、水が巡っている。多様な生き物が響きあい共生している。障害ある人、ケアする人、ダンサーや音楽家が、ユーモアを交えて舞台をうみだします。

ぶようげき 共創の舞踊劇について

この舞踊劇は、障害のある人、ない人、社会的課題をかかえた人たちがダンサーとともに既存の身体表現の枠組みを超えた舞台をつくることで、多様な表現のあり方を社会に問うことを目指す取り組みです。この作品をとおして人間の存在の幅広さ、奥深さ、そして人間を含むあらゆる自然と生命の声に耳を澄ませる機会をつくります。

ダンスには、異なる価値観を許容し、言葉を超えて交信する力があります。日頃聞き取れない微弱なサインが、その声の主たちと共に創りあげるダンスによって増幅され、これまでより多くの人たちに届き響きあうことでしよう。

この作品には、インドネシアの文化や芸能のエッセンスが取り入れられています。人と自然、人とおおいなる存在が行き交う世界観を持った芸能のあり方は、人間が培ってきた「共創」の私たちそのものと言えます。今日の私たちの文化と、異なる文化がぶつかることから、いま、ここでこそ共感する表現をうみだすことを探ります。

この「共創の舞踊劇」で見つけた手法や過程を応用、共有することで、さまざまな背景を持つ人や芸術文化活動への参加が難しかった人たちの表現手段をさらにひろげ、共に生きる社会づくりにつなげることを目指します。

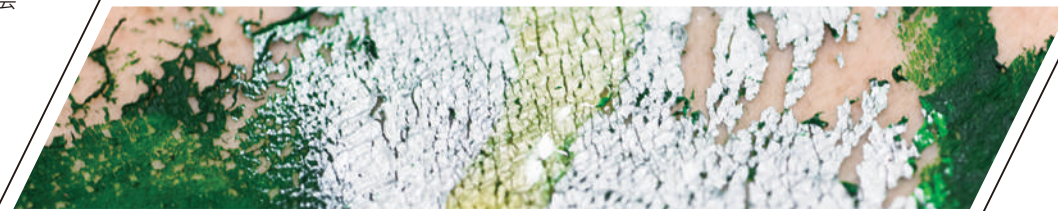
アジアの伝統芸能の知恵、水のようにしなやかな身体と感性をつかって、多様な私たちがダンスをともに作った！

ジャワと棚田とたんぼぼと | 佐久間新

ジャワで舞踊を習っている時、熱病にうなされたかのようにどうしてもジャワの人たちのことが分からなくなることがあった。ダンスの振りに始まりは無く、終わりだけがあるとか。音楽の裏拍だと思っていたものが、表も裏も無く両表だったとか。先生にアポイントとって会いに行くのが失礼で直接行った方がいいとか。価値観が反対だったり、違ったりすることがたくさんあった。ジャワ舞踊は、テクニクだけがうまくなっても仕方がない。ジャワの考え方、暮らし方、付き合い方を知らなければ意味がない、とよく言われた。舞踊がうまくなるにはとにかく真似るしかない。ジャワ人になりたいともがいていた。

帰国後、都会には住めないと、大阪と京都の境にある山間に暮らすことにした。農家の倉庫を改造して無理やり住んだ我が家の周辺は、700メートル弱の山に囲まれたクレーターのような盆地になっていて、西の谷、東の谷といった地名がついていた。そこに広がる棚田には、何万ものカエルが住んでいる。クレーターに響き渡るカエルの声は、全体としておおきなうねりを感じるがある。それでいて、ひとつひとつの音もクリアに聞こえる。夕方に始まるカエルのアンサンブルは、夜が更けるとともに盛り上がり、山の際がうっすらと色を変える頃、力の抜けたすべての音が、波にもまれた石のような丸みを帯びて響きはじめる。その響きの美しさに気づいたのが、暮らし始めて8年経った5月の早朝だった。

山間に暮らし続けていると、だんだんと聞こえる音や見える風景がある。感覚の解像度が急激に増す時期がある。そのことは自分の踊りにも影響を与えた。ちょうど、たんぼぼの家で始めた障がいある人たちとのダンスが深まってくる時期とも重なっていた。棚田の水が田から田へと流れ始めるように、いろんなものがつながり始めた。異文化の中にどっぷり浸かって、伝統舞踊を習う体験をしたことが、障がいある人とダンスをすることにつながっていると思う。ある風土や文化が芸能を生み出す。芸能が人々の思想や体を作り出す。両者は剥がすことができないが、その素晴らしい体を伴った知恵を、もっといろんな文化のいろんな体の人と吸収できないかと思う。伝統芸能が想定していなかったような今の社会で、そのまま再現するだけでは足りない。舞踊も多様な体を対象とはしていないことがほとんどだ。だから芸能の何が大切なのかを見極めて、自分たちに合うように工夫する必要がある。芸能から力をもらうために、私たちの芸能を作りたい。簡単なことではない。それでも、そのしっぽをしっぽの無いカエルに見つけつつあるような気がしている。棚田を舞台に、どんな舞踊劇が生まれるだろうか。



共創ワークショップ

2018年夏から冬にかけて、関西の3つの異なるコミュニティ(子どもと親、高齢者とインドネシア人介護者、障害のある人とケアする人)でダンスワークショップを3回ずつ開催しました。自分たちがしてきた表現の有効性が確かめられ、勇気を得ました。より多くの人とシェアするための手法を学びました。ここでの経験も舞台に活かされています。

1. おとな達の背中を渡って見たらどうなるかな。意外とすいすい進めて楽しい
 2. 障害のある人、ケアする人、まじりあって床で転がっている
 3. どうぞ、お注ぎします。手のひらに拘わられているのは、お水、お酒、土、…何でしょうか
- 写真 | 仲川あい



たんぼぼの家とは

[アート]と[ケア]の視点から、多彩なアートプロジェクトを実施している市民団体です。ソーシャル・インクルージョンをテーマに、アートの社会的意義や市民文化について問いかける事業を実施しています。国内外の団体とネットワーク型の文化運動を展開し、より公共性の高い仕事に取り組んでいます。たんぼぼの家と佐久間新は14年間「ひるのダンス」という、ダンスの取り組みを続けています。総合舞台作品として発表するのは、今回が初めてです。

出演

中川雅仁 | 水田篤紀 | 山口広子(たんぼぼの家アートセンターHANAメンバー)
是永ゆうこ | 佐久間新 | 佐藤拓道 | 古川友紀
音楽 || 野村誠 | ほんなまほ
ゲスト出演 || たんぼぼの家アートセンターHANAメンバー(兵庫公演)
だじゃれ音楽研究会(東京公演) | ほか

佐久間新 | 演出・振付

ジャワ舞踊を探求する中から「コロバ・即興・コミュニケーション」に関わるプロジェクトを推進中。からだから生まれる言葉で話す「からだトーク」(大阪大学)、障がい者と新しいダンスを創る「パニユ・プロジェクト」(たんぼぼの家・奈良)、マイノリティの人とのダンス映像制作(CROSSROAD ARTS・オーストラリア)等。共著に「ソーシャルアート 障害のある人とアートで社会を変える」(学芸出版社)。

